



ゆいぐみさんと遊んだよ

R7.1.31(金)ひまわり組

昨日は“しりとり”、今日は遊戯室で“線鬼ごっこ”“ドッチボール”“木の中のりす”を4歳児と一緒にしました。

“しりとり”では、ひまわり組とゆい組が交互に単語を言い、どれだけ考えても単語が思いつかなかった子は抜けていき、一人でも残っていた組の方が勝ち！というルールで行いました。始めはどちらのクラスも順調に単語を出し合っていたのですが、徐々に思いつかなくなってきた子ども達。保育者が時々「寒い時に首に巻くよ」などとヒントを出しながら続けていくと…さすがはひまわり組！保育者からのヒントは必要なく、子どもたち自身が考えて勝つことができました。頭の中で「これは言えるかな？」「この言葉はさっき言っていたな」と考えたり、友だちが答えている単語を聞き「そんな言葉もあるんだな」と知ることができたりと、様々な気づきがあった様子です。

“線鬼ごっこ”“ドッチボール”“木の中のりす”では、『次はどこに逃げようかな』『あの子動いてないからあの子を狙ってボールを投げよう』『“きこり”って言われたから、木の役の自分が動かないと！』などと瞬時に考えながら体を動かすことを楽しんでいましたよ。

今後も異年齢での交流を楽しんだり、クラスの友だちと複雑なルールのある遊びをしたりと様々な遊びをしていきたいと思います。

線鬼ごっこ



どっちに逃げたらいいの～？！



すぐそこに鬼が来てる！
急いで線の上を走らないと！



ドッチボール



木の中のりす

オオカミが来たぞー！

